

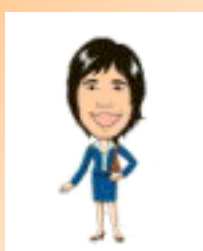
手をつなごう2007

平成20年3月24日
岡山県立東備養護学校
支援部だよりNO. 37

いよいよ今年度最後の号となりました。この支援部便りを毎週更新することは大変な時もありましたが、支援部の取り組みを皆さんに知っていただく貴重な機会として励みにもなっていたと思います。

1年間、ご愛読(?)ありがとうございました。

本校では巡回相談員を5名指名し支援に当たらせていただきましたが、代表して富谷・久本のこの1年をふり返っての感想をご紹介します。



昨年度にも増して、特別支援教育が各校に浸透してきたようで、巡回相談の依頼についても変わってきたように感じています。最近では、校内委員会で検討されていたりケース会で支援方法を考えていたり、学校全体で取り組もうとしている姿勢が感じられます。また、以前はどちらかというと周囲が困っているから...というケースが目立っていましたが、次第に「学力が不十分で本人が困難を感じているのではないか?」「LDではないか?」という本人の立場に立っての依頼が増えてきているように思います。先生方、保護者の方の気づきの力が高まっているということかもしれません。これからも地域でネットワーク力を高めながら特別支援教育をすすめていきたいですね。

(富谷えり)

先輩の巡回相談員の先生から、これまでは「学校や園によって取り組みや考え方に温度差があった...」と聞かされていましたが、どちらの学校や園でも熱心に取り組んでくださっているように感じました。中には依頼をいただいて出向いてはみたものの、担任の先生はとてもよく勉強されていて上手く支援をされており、これ以上は何を話そうか困ってしまったなんてこともありました。特別支援教育は着実に定着しつつあるんだなあと感じています。

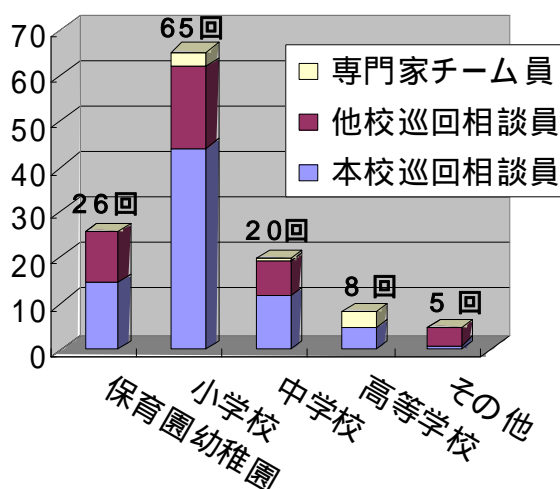
巡回相談に出かけていて一番うれしいのは、やはり「子どもが変わりました!」「さん、よくなりました!」などという言葉を貰うことです。学校や園で困っている子どもたちやその保護者、先生方が少しでも楽になり、楽しく充実した生活を送ることができるようなになればと思い、無い知恵を絞りがんばってきたつもりです。

実は訪問先からの帰りの車の中では、「上手く伝わったかなあ?」「こういうふうに言えばよかったなあ...。」「ひょっとしたら誤解されたかも。」などと不安になったり反省したりしながら、くらーい気持ちでハンドルを握っています。「今日はうまくいった!」なんて日はほとんど無いですね。(これは他の巡回相談員も同じように言っていました。)というわけでご満足いただけないこともあったことと思いますが、この場を借りてお詫びいたします。

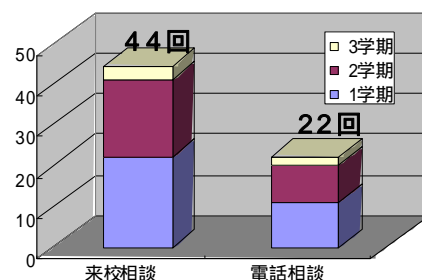
来年度は今年度よりもさらに特別支援教育が普及し、子どもたちの生活が充実するように願っています。私たち特別支援学校もより高い専門性を付けていかなくては...うかうかしていられませんね。(久本晃司)



巡回相談 総計124回(延べ)



今年は玉野市・吉備中央町が他校の担当となったため総数は減っていますが、専門家チーム員、他校の巡回相談員の皆さんのご協力をいただき何とか対応できた...というのが実感です。来年度も工夫しながら精一杯がんばりますのでどうかよろしくお願いします。



来校・電話相談